

速習！情報 ～共通テスト対策講座～

問題解決

**PDCA、ブレインストーミング、KJ法、
マインドマップ、ロジックツリー、ガントチャート**

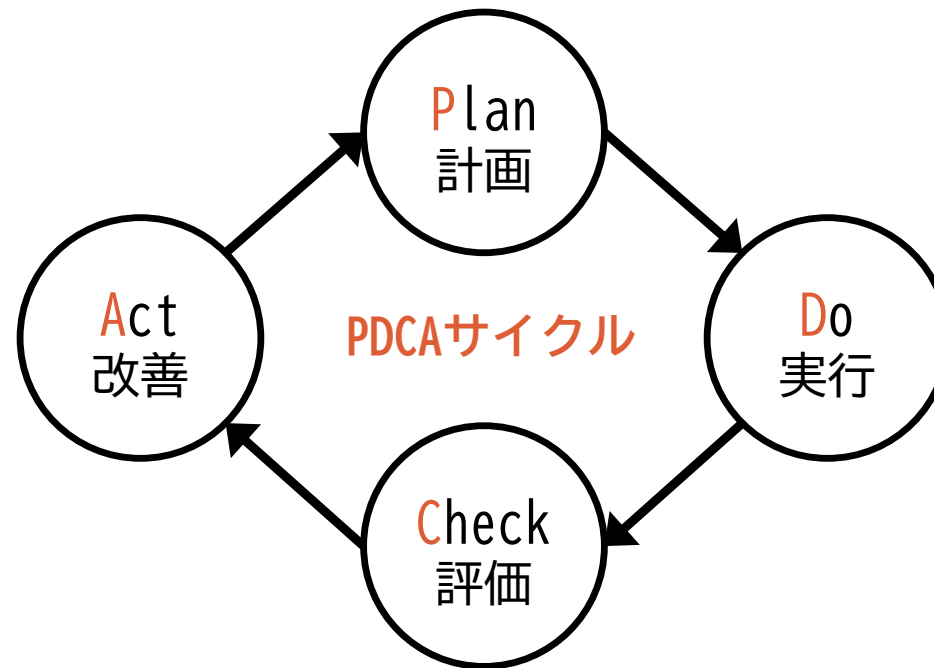
問題解決は、問題の発見、定義、解決策の立案、実行、振り返りのプロセスで行う

- 理想と現実のギャップのことを**問題**という
- このギャップを埋めることを**問題解決**という

問題解決のプロセス

手順	説明	具体例
問題の発見	現実と理想のギャップを把握する	部活の朝練に遅刻する人が多い
問題の定義	情報収集・分析して問題を明確にする	近くに住んでいる人に遅刻者が多い
解決策の立案	解決方法を考えて実行計画を立てる	声を掛け合って集団登校する案を立てる
解決策の実行	実際に計画を実行する	案を実際に実行してみる
振り返り	過程や結果を評価して次に活かす	遅刻者は減ったが特定の人遅刻はある

問題解決はPDCAサイクルを繰り返すことが重要



問題問題解決では、みんなの知見・考えを集約して、よりよい考えを生み出す

問題解決のプロセス

手順	説明	具体例
問題の発見	現実と理想のギャップを把握する	部活の朝練に遅刻する人が多い
問題の定義	情報収集・分析して問題を明確にする	近くに住んでいる人に遅刻者が多い
解決策の立案	解決方法を考えて実行計画を立てる	声を掛け合って集団登校する案を立てる
解決策の実行	実際に計画を実行する	案を実際に実行してみる
振り返り	過程や結果を評価して次に活かす	遅刻者は減ったが特定の人遅刻はある

みんなの知見・考えを集約して、よりよい考えを生み出すための発想法

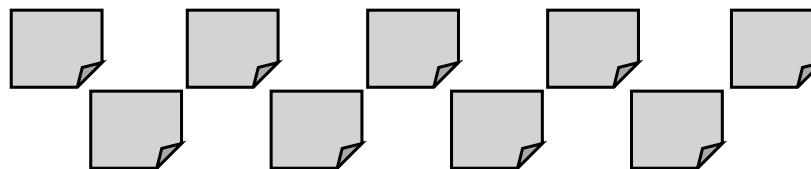
- ブレインストーミング
- KJ法
- マインドマップ

ブレインストーミングでは自由に意見を出し合う雰囲気作りが重要

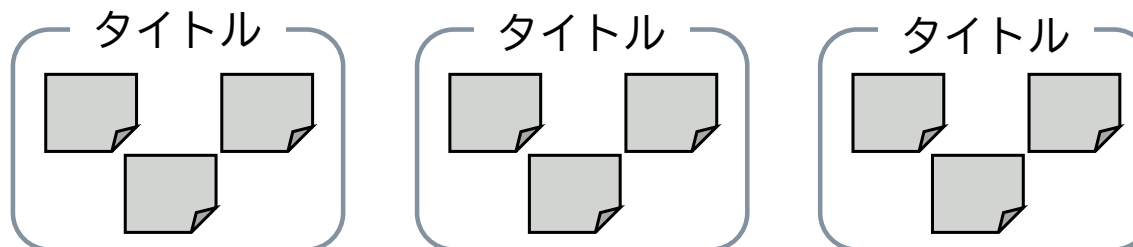
- **ブレインストーミング**：複数人で自由な雰囲気の中で活発に意見を出し合って新たなアイデアを生む
 - 質より量
 - 自由に発想・発言する（制約を設けない）
 - 他人の意見への便乗を歓迎する
 - 批判は禁止

KJ法では、似た考えをグループ化してタイトルを付けて、考えを整理する

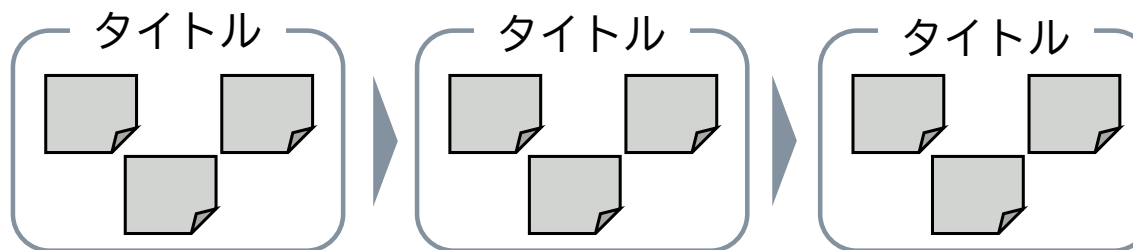
1. 1枚のカードに1つの考えを書く



2. 似た考えをグループ化してタイトルを付ける

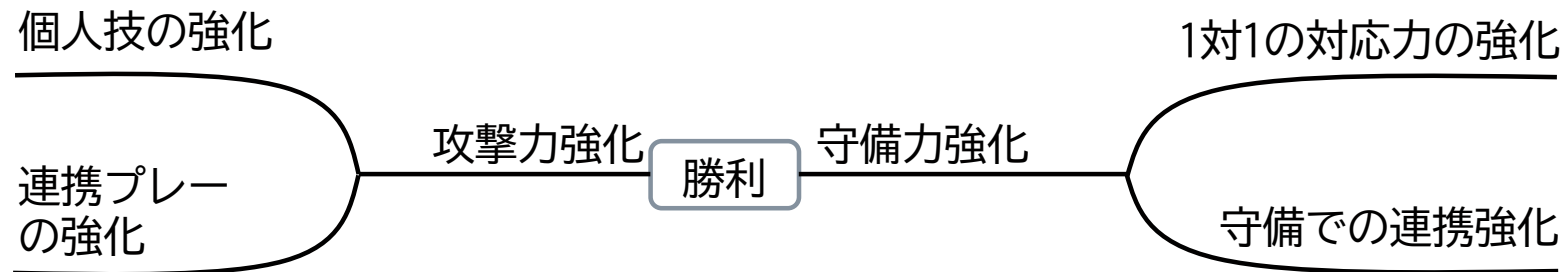


3. グループ間の関係性を整理する



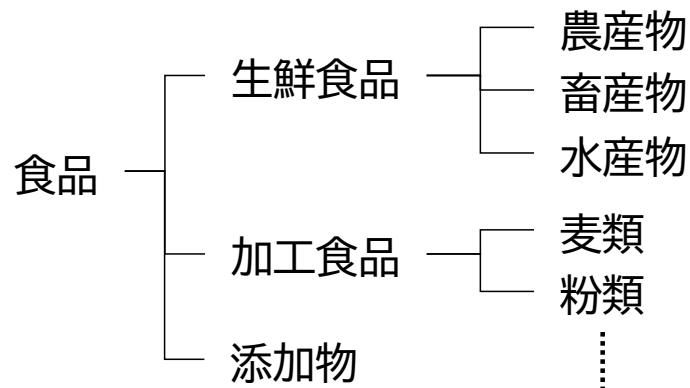
4. 整理した結果を文章化する

マインドマップでは、中央のテーマから枝を分けて発想を膨らませつつ整理する



ロジックツリーでは情報を階層構造に分類する。MECEを意識しよう

情報を階層構造に分類した図を**ロジックツリー**という



漏れなく

重複なく

Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive

MECE
ミーシー

ガントチャートでは作業を細分化してスケジュールを表して進行を管理する

作業を細分化して、項目ごとに行を分けて対応スケジュールを表した図を**ガントチャート**という。ガントチャートを使って、計画を立てたり、実行時に進行状況を管理したりする。

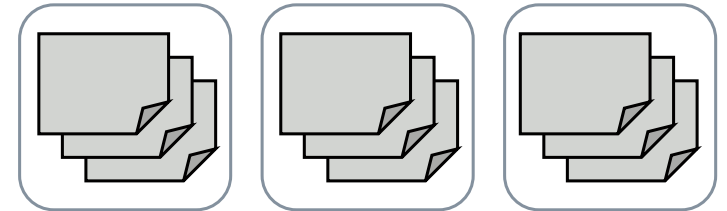
No.	作業内容	担当者 (責任者)	10月				11月
			1週	2週	3週	4週	1週
1	劇の台本の作成	脚本家	■				
2	大道具の制作	道具係	■	■	■		
3	小道具の制作	道具係			■	■	
4	台本読み合わせ	演出家		■			
5	立ち稽古	演出家			■		
6	通し稽古	演出家				■	
7	リハーサル	演出家					■
8	本番	演出家					■

「問題解決」の要点

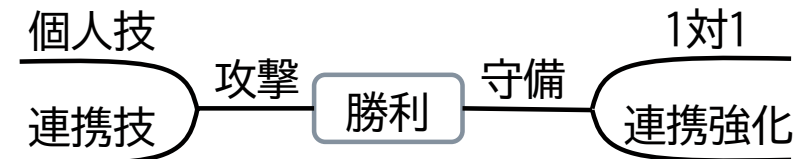
「問題解決手法」の要点1

- 問題解決の流れ
 - 問題の発見 ⇒ 問題の定義 ⇒ 解決策の立案 ⇒ 解決策の実行 ⇒ 振り返り
 - **PDCAサイクル** (Plan ⇒ Do ⇒ Check ⇒ Action)
- 発想法
 - **ブレインストーミング**：複数人で自由な雰囲気の中で活発に意見を出し合っって新たなアイデアを生む
 - 質より量
 - 自由に発想・発言する（制約を設けない）
 - 他人の意見への便乗を歓迎する
 - 批判は禁止
 - **KJ法**：似た考えをグループ化してタイトルを付け
さまざまな考えを整理する
 - **マインドマップ**：中央のテーマから枝を分けていき
発想を膨らませつつ整理していく

KJ法



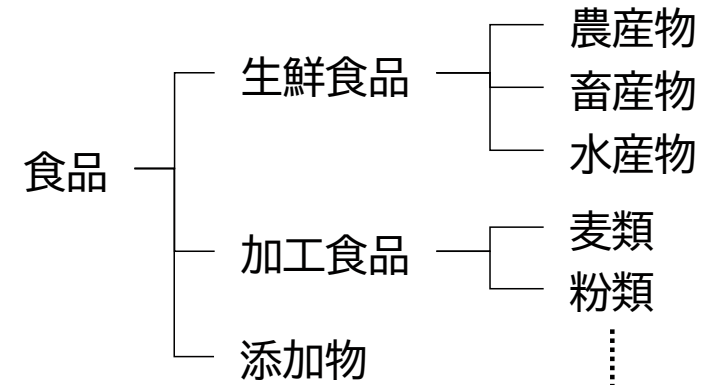
マインドマップ



「問題解決手法」の要点2

- 情報を整理するツール
 - **ロジックツリー**
 - 情報を階層構造に分類した図

- 進行を管理するツール
 - **ガントチャート**
 - 作業を細分化して、項目ごとに行を分けて対応スケジュールを表した図



No.	作業内容	10月			
		1週	2週	3週	4週
1	劇の台本の作成	■			
2	大道具の制作	■	■	■	
3	小道具の制作			■	■
4	台本読み合わせ		■		
5	立ち稽古			■	